

私の格安SIM乗り換え体験記

～iPhone 2台をSoftbankから格安SIMに～

I. はじめに

私は、最近、ソフトバンク契約のiPhone 2台（2012年にApple銀座ストアで購入したiPhone 5と2015年に我孫子駅近くのソフトバンクで購入したiPhone SE）を格安SIMに乗り換えました。乗り換えた理由は、毎月ソフトバンクに自動引き落としで支払っている（支払わされている）iPhone 2台の通信料金を大幅にカットする（スマホの電話とインターネット接続の機能と利便性を全く損なわずに）ためです。

格安SIMに乗り換える方法としては、自宅から一步も出ないで、ほとんどインターネットだけで乗り換える「完全自前」方式と、格安SIM会社（またはその代理店）の店舗に足を運んで必要な手続き・手順を全部やってもらう「おんぶにだっこ」方式があります。どっちが楽かといえば当然後者ですが、格安SIM会社が店舗を構え社員を常駐させれば、費用がかかります。何事もそうですが、タダでお得というものはありません。実店舗を持つ格安SIM会社もあるにはありますが、ソフトバンク、au、NTTドコモのように全国津々浦々に店舗網とはいきませんから、近くに実店舗があるとしても、行けばその場ですぐに対応してくれることは期待できません。交通に要する時間は我慢できても、店舗での待ち時間や行列を好まないという人には向きません。

格安SIMへの乗り換えは初体験でした。余計な時間と費用をかけない賢い乗り換えはどうやったらいいのか、方法がよく分かりませんでした。しかし、持ち前の好奇心と執念で無事格安SIMに乗り換えることができました。これまでiPhone 5とSEを合わせて毎月ソフトバンクに1万3千円近く支払っていましたが、これが半分以下になります。ソフトバンクの契約更新月以外の解約には1万円近いペナルティがありますが、それを払ってもすぐにモトが取れます。

今回格安SIMへの乗り換える過程で初めて知ったことが色々あります。手順を間違えて余計な時間と費用をかけてしまった失敗もあります。私の体験記は、これから格安SIMに乗り換えようとする方々に何がしかのお役に立つのではないかと思います、本稿を書くことにしました。

II. SIMとは何か？格安SIMは格安スマホとどう違う？

SIMは英語のsubscriber identity moduleの略、和訳すると「契約者識別モジュール」です。スマホに必須の部品（ICカード）ですが、スマホ本体に内蔵され、自分で別のSIMに交換しようとするスマホユーザーでなければ、見たり触れたりする必要がない部品です。自分のスマホからSIMを取り出して他人のスマホ内蔵のSIMと交換すれば、他人のスマホの電話機能やインターネット接続機能を自分のスマホで使うことができます。しかし、どのSIMとでも互換可能ではありません。SIMは、右の写真に示すとおり、大きさの違う3種類があり、同じサイズのSIM同士の交換しかできません。iPhoneの場合は、写真で一番右側のnano SIM(ナノSIM)が使われますが、その実寸は大人の小指の爪くらいのものです。その隣はMicro SIM (マイクロSIM)という少し大きめのサイズですが、これもスマホで使われています。スマホ本体からSIMを取り出すには、専用のピンを使います。ピンをスマホ本体のSIMカードトレイ穴に差し込み、



少し力を入れて押し込めばトレイごと出てきます。（右の写真は、私の iPhone 5 からソフトバンクの SIM を取り出したところです。一緒に写っているのは専用ピンです。）



では「格安」SIM とはどのようなものでしょうか。分かりやすくいうと、既存のケータイ電話会社（NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、キャリア 3 社と言われます。）から基地局や回線網などの設備を借りてケータイ電話サービスを提供する会社（MVNO または仮想移動体通信事業者と言われます。）が販売する SIM カードを指します。

何故「格安」でケータイ電話サービスを提供できるかということ、SIM カードを販売するための実店舗や従業員を持たないで、主としてインターネット通販で販売することによるコストダウン効果が大きいからです。しかし、程度の差はあるにしても、実店舗を持つ格安 SIM も複数あります。

格安スマホという商品は、その名のとおりスマホですが、購入時に格安 SIM が組み込まれています。格安 SIM を提供する業者は、通常格安スマホも取り扱います。しかし、スマホの品揃えは限定的です。私のような iPhone ユーザー（Apple 信者？）の選択肢ではありません。

SIM、格安 SIM、格安スマホをキーワードにして Google 検索するとたくさんのサイトにヒットします。私が今回の乗り換えに際してチェックしたサイトの一部を以下に掲げます。

<http://www.ntt.com/personal/services/mobile/one/hajimete/sim/01.html>

https://www.iijmio.jp/hdd/guide/d1-1_otoku.jsp

https://enjoy.sso.biglobe.ne.jp/archives/what_sim/

<https://hikakaku.com/blog/%E5%BA%97%E8%88%97%E3%81%82%E3%82%8A%E3%81%AE%E6%A0%BC%E5%AE%89sim%E3%83%96%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%89%E3%81%AF%E3%81%A9%E3%81%93%E3%81%8C%E3%81%8A%E3%81%99%E3%81%99%E3%82%81%EF%BC%9F9%E7%A4%BE%E3%82%92%E6%AF%94%E8%BC%83%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%BF%E3%81%9F/#i-6>

III. どの格安 SIM を選択するか、どのようにして契約するか

格安 SIM 会社は、本稿の執筆段階で 20 社以上あるようです。ネットでキーワード「格安 SIM」で検索すると、比較サイトがたくさん出てきますが、特定の会社をベストといって契約させようとする下心が透けて見える広告料稼ぎのサイトがいくらかもあるようです。価格ドットコムなどで調べると、どの SIM 会社も値段は似たり寄ったりでした。私は、多少安いか高いかよりも、実績のある信用できる会社であることと私と妻の使用データ容量をプールできることの 2 点が必要条件でした。（私の場合、iPhone 2 台利用と言っても、彼女は自宅 WiFi で使うのがほとんどで、外出時にネットにつなぐような利用は滅多にしないので、単独では容量が余ってしまいます。）

格安 SIM を購入するために SIM 販売会社（または代理店）に足を運ぶか、それとも自宅にいながらインターネットで契約するか、私は避けられる無駄はしないという性分なので、当然後者を選択しました。

IV. ソフトバンク契約の解約等

格安SIMに乗り換える場合、ソフトバンクとのスマホ契約を解約するほかに、SIMロックされているiPhone SEのロック解除と電話番号の引き継ぎ（MNP手続）が必要です。

スマホ契約の解約は、ソフトバンクのホームページにある電話番号にかければ簡単にできます。私の場合、毎月のソフトバンク料金は10日締めですが、月額基本料金は日割り計算されません。格安SIM会社の方も同様に月額基本料金の日割り計算はないので、ソフトバンクの解約月の月額基本料金を両方に支払うことにならないように、ソフトバンク契約は12月10日付けで解約、IIJmioとは12月1日にインターネットで契約することにしました。

次にSIMロックの解除ですが、使用中のiPhone 2台のうち、iPhone SEは2年前に発売された機種なのでSIMロックを解除できますが、iPhone 5は機種が古く、ロック解除できません。（この点は、ソフトバンクのホームページから得た情報です。）私はiPhone 5は捨てることにして、代わりにSIMフリー（ロックなし）のiPhone XをAppleからネット購入しましたので、SIMロックの解除が必要なのはiPhone SEだけでした。

ソフトバンクのSIMロック解除は、ソフトバンクショップに頼めば手数料3千円（税別）ですが、MySoftbankという契約者専用サイトからネットでやればタダです。しかし、MySoftbankからロック解除できるのはソフトバンクのスマホ契約者限定です。契約を解約してからではできません。さらに乗換先SIMの現物がないとロック解除できないことも分かりました。私の場合は、IIJmioからSIMカード一式を入手するのに手間取り、入手した時にはソフトバンクのスマホ契約が終了していて、泣く泣くソフトバンクショップに出向き、手数料3千円（税別）を支払ってiPhone SEのロック解除をしてもらいました。

IIJmioからのSIMカードの入手に手間取ったのは、お恥ずかしいことに、連絡メールの見落としでした。契約時に必要な本人確認書類としてアップロードした運転免許証の写真について、部分的に電灯の光が映り込んでいたものをそのままアップロードしたらしく、折り返しIIJmioから、写真を撮り直して再度アップロードしてくださいとの連絡メールが入ったことに数日間気づかず、ようやく気づいて慌てて運転免許証の写真を撮り直して再度アップロードした時には既にソフトバンク契約が終了していたというお粗末でした。

ソフトバンク手続きの3番目は電話番号の引き継ぎ（MNP手続）です。使用中の電話番号を格安SIMに引き継ぐためには、ソフトバンクのホームページにあるMNP手続の専用電話番号にかけてiPhone 2台分の「MNP予約番号」を入手し、それを使ってSIM会社と契約する必要があるがあります。（MNPとはMy Number Portabilityの略語です。）

私の場合、IIJmioから送られてきたSIMカード2枚には、iPhone 2台それぞれの電話番号が書いてありました。それをiPhone 2台のソフトバンクSIMカードと差し替えます。これで通話ができるようになりました。しかし、電話機能が使えるようになったというだけで、データ通信機能（電話回線によるインターネット接続）を使うためには、次に述べるAPN手続が必要です。

V. SIMのAPN手続

入手したSIMを使ってデータ通信機能（電話回線によるインターネット接続）を利用するには、APN手続が必須です。（APNとはAccess Point Nameの略語です。）これまで使っていた私のiPhoneは、入手した時点でソフトバンクのAPN設定済みです。これの代わりに、私の場合は、IIJmioのAPN設定をしないと電話回線によるインターネット接続ができません。

一体何をどうやるのか、ハードルが高そうに見えますが、実際は簡単な作業でした。IIJmioから送られてきたSIMカードのパッケージに記載の「ご利用手順」に従って、私のiPhone 2台それぞれからIIJmioのサイト（<http://iijm.io/apn>）にアクセスし、そこから「APN構成プロファイル」をダウンロードしてインストールすればおしまいです。「APN構成プロファイル」ダウンロード用のページには「IIJmio 初期設定（iPhone編）」というビデオが用意されていて、それを見れば誰でも容易に設定できます。

VI. au、NTT ドコモからの乗り換え手続

au、NTT ドコモからの格安SIM乗り換え手続きは、おおよそのところはソフトバンクの場合と同じですが、細かなところで違いがあります。詳細は「au、NTT ドコモからの格安SIM乗り換え」など適当なキーワードでネット検索してください。iPhoneについてもAndroidスマホについても沢山の情報があります。

以上
2018.2.2
石澤芳朗